

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	宮川みどり	市確認欄	
専門部会名	第 1 回	就労部会	
日 時	令和 6 年 4 月 12 日（金） 14 時 30 分～16 時 00 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 12 名	市職員 2 名	事務局 3 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り・ なし		
報告・検討 の内容	① 自己紹介 ② 部会長・副部会長の選任 ③ 前回の振り返り ④ 今年度の福祉的就労説明会について		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	①自己紹介 ②部会長・副部会長の選任 【新】竹内由美子部会長（じゃんぐるじむ） 水谷公哉副部会長（ポレポレハウス） ○6 月 14 日（金）の部会について 第 2 回目部会→6/12 福祉的就労説明会に置き換えする ③前回の振り返り ・「令和 5 年度第 5 回実施報告書」を用いて振り返り ・「バスツアー振り返り議事録※別配布」の内容共有 ④今年度の福祉的就労説明会について ○概要 ・日時：6/12(水)午前 10 時～午後 3 時 ・会場：日進市民会館小ホール ・内容： 【午前】三好特別支援学校高等部の進路指導、日進市役所介護福祉課と日進市障害者相談支援センターによる受給者証発行の流れやアセスメント実習の説明		

【午後】福祉サービス事業所の説明会及び各事業所ブースで個別相談会の実施

※午前・午後の間に事業所の自主製品販売、説明

○準備について

6/11(火)午後の準備に参加できる方→追ってメールで確認
当日 9:00 集合、会場設営～9:45 完了、10:00 講演会開始

○部会員の参加について

当日参加できない方→本日の時点では特になし。

※スケジュールが変わったら都度連絡

○当日の役割分担について

サービス事業所の部会員は午後から相談ブースの担当となるため部会員の活動は難しい場合もあり。

基本的な役割は小ホール・展示ホールにわかれての誘導。

※事務局担当→カメラ・司会・プロジェクター操作（市）、
タイムキーパー

○販売について

・ポレポレ→販売可能

・去年は不足・余剰がなかったので、去年と同量くらいで準備いただく。野菜販売は見通しが立ってからまた調整をしていく。

・日進市内には生活介護が少ないため、東郷事業所にも声掛けをしたい。またアセスメント実習ができるところ（名東区ひまわりの風）にも声をかける。

・その他何か提案があれば個別に連絡。

○周知について

コドモンの利用、大人・子どもの事業所、市内の公共施設にチラシを配布し周知予定。

特別支援学級へのチラシの配布は従来校長会で確認していたが、コドモンになってからの確認も必要か→市で確認

○日進市周辺市町村からの問い合わせ（保護者）について

原則「日進市在住の方を優先」

→枠があまったら他の市町村の方を受け入れる

○チラシについて

・申込欄を表にしてはどうか（共催の名前が小さくできないので、その場合共催名は裏にもっていく）。

・入場制限を入れて、参加申し込みをとってみてはどうか。
（全数把握をしなくてもよいのでは）

→緊急時の連絡ができないため必要。ただし、個人情報の

	利用目的の記載は必要。 ○事業所紹介動画について ・3年前に作成のため事業所の情報が古くなっている。 →事業所の了解が取れたら、説明会の昼時間に上映する。 このままの情報で上映していいか、各事業所に確認する。 ○日中一時の紹介について 日進市B型→日中一時を原則利用できない（特別な事情がないかぎり）。A型は利用できるなど、説明が必要のため、ブースではなく、日中一時チラシは相談支援のブースで、説明しながら適宜渡す。 ※相談支援センターが総合相談の窓口となり割り振りを する ○配布資料について にしんの福祉を受付で本日の資料として渡す。 （必要な人に持って行っていただく） 市で100冊なら用意可能。 ○参加事業一覧表について 保護者から出てくる質問をまとめたもの。 R6年度版に変更して掲載するため、各事業所にメールで内容確認をする予定（利用時間の項目追加）。 次回 6/12(水)福祉的就労説明会に置き換え 以上
今回確認事項	① 部会長・副部会長の選任 ② 前回の振り返り ③ 今年度の福祉的就労説明会について
次回検討課題	①福祉的就労説明会の振り返り ②後期の取り組みについて
次回開催日時	令和6年6月12日（水）
次回会場	日進市民会館 小ホール・展示ホール

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 1 回	就労部会
	令和 6 年 4 月 12 日（金） 14 時 30 分 ～16 時 00 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 中屋 優（欠席）	② 竹内 亜希子
③ 小山 喜久	④ 今仲 良子
⑤ 水谷 公哉	⑥ 加藤 悠也
⑦ 長戸 陽子	⑧ 眞田 苑子（欠席）
⑨ 中山 妙子	⑩ 鈴木 英男（欠席）
⑪ 岡田 倫和	⑫ 村野 政章
⑬ 菅原 淳	⑭ 草野 圭一
⑮ 竹内 由美子	

（市職員）

① 小倉 懸自	② 渥美 則親
③ 小塚 香苗（欠席）	

（事務局）

① 宇佐美 香津美	② 日岡 由季枝（欠席）
③ 宮川 みどり	④ 中村 美智子

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	宮川みどり	市確認欄	
専門部会名	第 2 回	就労部会	
日 時	令和 6 年 6 月 12 日（水） 9 時 00 分～15 時 40 分		
会 場	日進市民会館 小ホール・展示ホール		
出 席 者	部会員 12 名	市職員 4 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り・ なし		
報告・検討 の内容	令和 6 年度 障害のある（と思われる）お子さんの保護者向け 高校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会 【午前の部】 三好特別支援学校の進路指導 受給者証発行の流れやアセスメント実習の説明 【午後の部】 福祉サービス事業所の説明会及び、各事業所ブース での個別相談会		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	○前日 15:00 から、設営実施 16:00 部会員解散 16:20 事務局終了 ○当日の進行状況 9:00 部会員集合 出欠の確認、当日のタイムスケジュール及び役割の確認 パンフレットブース、本日以外のイベントのお知らせの設営、 受付、案内等の張り紙実施 9:30 会場の準備、一番目の発表者（三好特支の岡田先生）の準備完了 9:40 参加者の来場開始 席に着く前にパンフレットを選ばれている方多数 10:00 参加者入場中。座席の八割くらいは埋まっている 10:03 説明会開始のアナウンス（中村）		

10:05 開会あいさつ(部会長 竹内)

10:08 「進路で大切にしたいこと」

(愛知県立三好特別支援学校 岡田先生)

- ・三好特支の小中部の日進在住者は 21 名、高等部の日進在住者は 34 名
- ・実習から雇用につながるかは本人次第。一般の高校受験や大学受験と同様の準備が必要。
また、保護者の協力姿勢も重要。

10:44 岡田先生の発表終了

質疑なし

10:46 「福祉サービスを利用した福祉就労について」

(日進市役所介護福祉課 小塚)

- ・卒業後の進路として考えられる4種類の福祉サービスについて説明
- ・高校卒業後に就労継続支援 B 型を利用する場合の留意点について説明

10:59 発表終了

質疑なし

11:00 「就労アセスメントについて」

(日進市障害者相談支援センター宮川)

- ・障害者相談支援センターの概要説明
- ・就労アセスメントの進め方、就労移行支援事業所の紹介等

11:22 発表終了

【質疑応答】

①就労アセスメントは 80 項目あるが、何日もかけて実施するのか？また、2年間の就労移行を利用した場合、この期間は賃金はでるのか？

→80 項目は認定調査に使われるもので、アセスメントとは違う。認定調査は生活介護を使う時に必ず必要。就労アセスメントはもっと細かく、80 項目以上ある。できること、できないことを細かく見る。1 日目と場所を変えて同じ内容をアセスメントしたりする。就労移行中は、まったく賃金が出ない事業所もあるし、交通費のみでるところもある。B 型で働くよりは少ない。

②就労アセスメントは就労移行支援事業所のどこの事業所でするかによって、結果は違ってくるのか？

→就労アセスメントはどこで実施しても結果はそんなに変わらないと思う。本人のなじみのある事業所の系列の就労移行事業所で実施してもよい。

③現在、娘は中 1 で、今後の進路としては高校進学かと思う。生

	活保護でも月 12 万円くらいもらえると思うが、A 型 B 型だけでは生活できないと思うが、みなさんどうやって生活しているのか？ →A 型でも工賃は一人暮らしができる金額ではない。障害年金と合わせて生活していたり、家族と生活している人が多い。その人によって制度を組み合わせて利用している。 11:31 質疑応答終了 11:32 参加事業所の説明(宮川) 11:48 説明終了 質疑なし 11:49 午後から内容について注意事項説明(中村) 11:51 説明終了 パンフレットコーナーにパンフレットもらいに行かれる参加者多数 12:00 事業所紹介動画上映 開始 お昼休憩 開始 12:45 福祉サービス事業所の説明会及び、各事業所ブースでの個別相談会 開始のアナウンス(中村) 15:05 福祉サービス事業所の説明会及び、各事業所ブースでの個別相談会 終了のアナウンス(中村) 片付け開始 15:30 部会員 終了 ○参加者 【保護者】午前からの参加者 61 名、 午後からの参加者 15 名 合計 76 名 【行政・学校関係者・他市町の相談支援事業所 等】 23 名 【部会以外の福祉サービス事業所】18 事業所 36 名 以上
今回確認事項	①令和 6 年度 障害のある(と思われる)お子さんの保護者向け 高校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会の実施
次回検討課題	①障害福祉サービス説明会の振り返り ②後期の取り組みについて
次回開催日時	令和 6 年 8 月 2 日(金)
次回会場	日進市障害者福祉会館 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 2 回	就労部会
	令和 6 年 6 月 12 日（水） 9 時 00 分 ～15 時 40 分	
会 場	日進市民会館 小ホール・展示ホール	

専門部会員	
① 中屋 優	② 竹内 亜希子
③ 小山 喜久	④ 今仲 良子
⑤ 水谷 公哉	⑥ 加藤 悠也
⑦ 長戸 陽子	⑧ 眞田 苑子
⑨ 中山 妙子(欠席)	⑩ 鈴木 英男(欠席)
⑪ 岡田 倫和	⑫ 村野 政章
⑬ 菅原 淳	⑭ 草野 圭一
⑮ 竹内 由美子	

（市職員）

① 小倉 懸自	② 渥美 則親
③ 小塚 香苗	

（事務局）

① 宇佐美 香津美	② 日岡 由季枝
③ 宮川 みどり	④ 中村 美智子

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	宮川みどり	市確認欄	
専門部会名	第 3 回	就労部会	
日 時	令和 6 年 8 月 2 日（金） 14 時 30 分～16 時 00 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 10 名	事務局 5 名	
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り・ ☐ なし		
報告・検討 の内容	①令和 6 年度障害福祉サービス説明会について振り返り ②今年度の後期の取り組みについて検討		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	①令和 6 年度障害福祉サービス説明会について ＜主な意見＞ ・アンケートの意見にも出ていたが、総合相談の窓口があると良い。中高生の保護者からも「どこから回っていいかわからない」との声があった。 ・小学生の保護者からは「わからない言葉が多かった」との意見があった。 ・午前の全体説明会では質問が多く出て、お金や将来の話など、大人になった時の質問があった。 ・午後のセンターの相談ブースでも、お金に関する質問が多かった。B型の工賃を知らない方、お金の使い方を考えていける機会になると良い。 親亡き後の手続きを心配されている方がいたので、後見センターの参加は必要である。精神科以外の障害の方がみえることも視野に入れていきたい。 ・保護者から工賃の質問があったので、色々な社会資源があることを知ってもらえると良い。 ・午前の説明会の順番について、市役所やセンターなど基礎の話が先にできると良いのでは。盲・聾についても、説明を加える必要がある。 ・幅広い年齢の参加があった。来年も来たいという意見が多かった。 ・説明会から、7 名の方が事業所（B 型）の見学につながった。 ・就労移行支援を知ってもらえる機会となっている。昨年より多い人数が来場され、事業所の見学につながった。 ・日進市は就労移行支援事業所が少ないので、一般就労の選択肢を持てると良い。 ・小学生の保護者の方から、障害受容ができないという話や母の就労についての相談もあった。市内のニーズを知ることができた。		

- ・三好特別支援学校の話の中で、本人の意思を尊重した支援の話に、保護者の方も共感されていた。
- ・年々来場者は増えているが、説明会を知らない保護者がいたので、周知の方法も検討していく。中日新聞などに取材に来てもらって、取り上げてもらうのもどうか。

②今年度の後期の取り組みについて

就労部会は、前半に保護者に福祉サービスについて知ってもらう説明会を開催。後期の取り組みとしては、毎年、障害者雇用の促進の動きをしようという流れになっている。

→今年度、取り組みについてどうやっていくか、検討を実施。

→企業の障害者担当者に参加してもらって、企業交流会実施。去年はコープあいちの現場見学ツアーを実施。好評ではあったが、今回の部会ではこれまでの流れを振り返り、それを踏まえて今後どうするかを部会で考えていく。

資料の説明&確認

- ・市町村の自立支援協議会についての資料の説明
- ・令和6年度の就労部会の年間スケジュールの確認
- ・平成22年作成の「障害のある人を取り巻く現状と課題」、令和3年度作成の「就労するまでの課題」確認
- ・就労部会における障害者雇用促進の活動年表の内容について確認

<主な意見>

・今年度我々が目指す状態像がもう少し具体化するといい。定量的な数字目標なのか、知識向上のためのバスツアーをするのか。都市計画にコミットするのか？保護者、児童にコミットするのか？色々なターゲット層がある。日進市として何をしたいのかを知りたい。

・今までの流れでは、進路説明会后、バスツアーでA型・B型・生活介護を回っていた。去年初めて一般就労の方のバスツアーを行った。ターゲットを企業にするのか、保護者にするのか。保護者に向けて、一般雇用について勉強会やバスツアーをするのか。あるいは、企業が実際に採用したときに相談する先がないことをターゲットにするのか？障害者本人が相談する人が話しやすい方に偏ってしまい、そういう方への負担が増えてしまうという企業側の問題点を解決する糸口を探していくのか、課題を絞って取り組んでいくようにしないといけないのではないかな？

・卒業後の就労のフォローアップについては、みよし市や豊田市は手厚いが、日進市や東郷町についてはなかなか人員的に、難しい状況が聞こえてきている。

・障害福祉サービスの多様化、増加により、保護者が家で自分のこどもを育てるという意識が弱くなっているという意見が出ている。「自分の子供はこうだから、こうしてほしい」という説明をする役割でなく、子ども自身が力をつけられるように、家庭でも育てていくというように、親御さんの意識の更新が必要。

子ども達は一生懸命通おうとしているが、親も意識を変えないと就労という少し高いところに進むことが難しい。

・B型事業所の利用者で、ステップアップしたいという人が今まで2人くらいいた。それも、「まずどうやってステップアップするか？」という模索から始ま

	る。事業所で働いている職員がよくわかっていないケース多い。ステップアップしたい利用者に職員がどうすればいいかを伝えられないことも課題かと思う。 ・大人を対象とした、就労説明会みたいなものがあるといいのかもと思う。今までは対象が小1から高校生までだったが、卒業後の子達に向けたものがあるといいと感じている。30代40代になった子たちがもっとお給料をもらいたいとなったときにどうしたらいいのか、そういうノウハウがない。 ・子ども部会でも同じような議論をすべき状況。今後、全ての部会の報告をすべての部会でできるとみんなが同じ方向を向いて検討できるのではないかと考えている。すすく園は親子通園しているが、親子通園は今、敬遠される。親子通園者は、減っている状況。親子の関わり、家庭でのかかわり方が療育のベースにあると思うが、親の中には子供は預けて、自分は働く、というような感覚になっている。そこも課題と考えている。 ・家庭環境、家族構成、個々人の意識の変化が裏目に出てしまっている、家族との関係が希薄になりつつあると思うが、就労に必要なことってどんなこと？みたいな、就労部会としてできることを考えていけるといい。 ・保護者の意識のずれについては、他の市町村の特別支援学校からも出ている。講演会を実施し、実例を交えて、どういうところを伸ばしておいて欲しいかということを支援機関の視点から講演を実施したことがあった。 ・B型からステップアップしたいとハローワークに来所される方に、職業準備性ピラミッドというものをを見せて話をしている。最上段から職業適性、基本的労働習慣、対人技能、生活のリズム・日常生活、健康管理・病気の管理・体調管理となっており、それぞれチェック項目がある。いくつかの項目ができるということよりも、ピラミッドの一番下が崩れるとだめになるから、まず一番下の、健康管理・病気の管理・体調管理をしっかりしましょうと話している。しかし意識を持っていない方への意識付けは難しい。 →就労支援施設の職員が、一般就労に向けて何をしたいかわからないという話があった。就業・生活支援センターアクトで、一般就労について何でも説明を聞いていただける会を開催している。月一、第四月曜の2時からアクトの二階のホールでしているので、部会員に周知メールを送ることに。 <その他> 令和6年度版障害者就労施設商品・作業カタログについて ・令和6年度版障害者就労施設商品・作業カタログの配布 →日進市役所のHPも更新済 ・部会員のB型事業所たのぼしよが7月末で閉鎖。部会員からも脱会。 以上
今回確認事項	①令和6年度 障害のある（と思われる）お子さんの保護者向け 高校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会振り返り ②今年度の後期の取り組みについて、今までの取り組みの振り返りと検討を実施
次回検討課題	①後期の取り組みについて
次回開催日時	令和6年10月11日（金）
次回会場	日進市障害者福祉会館 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 3 回	就労部会
	令和 6 年 8 月 2 日（金） 14 時 30 分 ～16 時 20 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 中屋 優	② 竹内 亜希子
③ 小山 喜久 （欠席）	④ 今仲 良子 （欠席）
⑤ 水谷 公哉	⑥ 加藤 悠也 （欠席）
⑦ 眞田 苑子	⑧ 中山 妙子
⑨ 鈴木 英男 （欠席）	⑩ 岡田 倫和
⑪ 村野 政章	⑫ 菅原 淳
⑬ 草野 圭一	⑭ 竹内 由美子

（事務局）

① 小倉 懸自（欠席）	② 渥美 則親
③ 小塚 香苗（欠席）	④ 宇佐美 香津美
⑤ 日岡 由季枝	⑥ 宮川 みどり
⑦ 中村 美智子	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	宮川みどり	市確認欄	
専門部会名	第4回	就労部会	
日時	令和6年10月11日(金) 14時30分～16時00分		
会場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 8名	市役所 1名	事務局 6名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・なし		
報告・検討の内容	① 「道の駅 マチテラス日進」事業説明について ② 各部会の報告について ③ 就労選択支援について ④ 前回の振り返り ⑤ 今年度の後期の取り組みについて ・就労部会の今まで取り組みの振り返り及び、今年度の後期の取り組みについて		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	・市役所の小塚さんの後任の吉ノ元さんの紹介 ・日進市議会議員のゆきむらともこさんの参加の可否⇒全員一致で承認 ① 「道の駅 マチテラス日進」事業説明について 日進市役所基幹施設整備課河村補佐 来年の8月開業にむけて準備中。今後、地域福祉課より各事業所には詳細を別途メールで説明予定。関心のある事業所は、個別にファーマーズフォレストに問い合わせしていただきたい。 ファーマーズフォレスト増渕さん：(石井さん、青山さんも同行) 各事業所様で作っている食品や雑貨の展示販売、屋外や会議室などを利用したマルシェ催事やワークショップなども可能。道の駅の除草作業の一部を業務委託させていただくことも検討中。民間企業、シルバーさんとも業務をうまく切り分けながら、検討していきたい。 その他、各事業所のPR活動などは情報発信コーナーを利用するなど、詳細は今後、詰めていきたい。 日進市役所地域福祉課野村補佐 地域福祉課より案内を送る予定で、送付先は、就労移行、A型、B型、生活介護、地域生活支援センターの各事業所。 →傍聴者ゆきむらともこさん退室。 ② 各部会の報告について 日進市障害者相談支援センター日岡		

各部会の進捗状況を把握することで、内容の重複を避け、各部会で連携して必要な協議を進められるよう、今後毎回報告をしていくことを説明。

・ケアマネ部会：昨年度作成した「にしんココロのガイドブック」の周知について協議し、11/17の健康福祉フェスティバルにおいて、スポーツセンター1階にブースを設けて周知を行う準備中。地域生活支援拠点の機能の充実を進めるにあたり、今後どのような取り組みを進めるか話し合う中で、各事業所で直面する課題についてご意見を抽出。緊急受診をする際に病院に付き添える家族がいなくて困ったケースや、他県に住んでいる発達障害をお持ちのお子さんを叔母が面倒をみることになった際に緊急だったということもあり、他市町と直接サービスについての相談を事業所がしたケース、事業所の数は増えてきた印象はあるが、移動の足がなく、精神の方の通院に困っていたり、家族支援として相談する場がなかなかないというご意見が出ている。ケアマネジメント部会所属の事業所で共通して協議できるテーマとして家族支援についての取組みを共有し、継続して協議していく予定。

・権利擁護部会：11/10に竹の山小学校と相野山小学校で開催予定の避難所開設運営訓練に部会員、部会員さんの所属事業所の利用者さんとともに避難訓練として参加予定。参加していただく方に参加した感想や不安に思うことについて伺うアンケートを実施するために内容を検討。部会で作成をした「要配慮者の避難所生活サポートブック」を例年、訓練に参加される地域の方に説明をして当日を迎えていたが、8月末の台風で中止となり、日程を再調整されることなく当日を迎えることになってしまったため、サポートブックの配布とともに、説明文書を配付予定。虐待防止勉強会については、市内の社会福祉法人 きまもり会、ポレポレ、あじさいの会、名東福祉会の4法人さんが意思決定支援に重きを置いた虐待防止勉強会を開催される予定。開催日については調整中。部会と共催という形で参加者を募る予定です。失敗から学んだことをテーマにグループワークも予定。部会主体の勉強会としては、行動障害の対応スキルを上げて、虐待につながらないようにしていくという内容を検討中。講師の候補は、たくと大府の林さんで調整中。差別解消法の勉強会を例年行っているが、今年度はもっと身近に障害のある方とふれあえる機会を作るためにボッチャの体験会を11/17の健康福祉フェスティバルの中で開催予定。あいちボッチャ協会と日赤奉仕団の協力を得て、スポーツセンターの第2競技場で開催予定。

③ 就労選択支援について

介護福祉課小塚さん

資料を基に説明を実施。令和7年10月からB型を利用される方が、利用の前に「就労選択支援」をうけないといけなくなる。今後、順次A型・移行もそうなる見込み。福祉的就労説明会での内容も変わっていく。「就労選択支援」をしてくれる事業所がどれくらいあるのか、日進市として把握しなければいけないので、各事業所がどのように考えているか、わかる範囲内で教えていただきたい。

<主な意見>

・再開して、まだ2年なので指定がとれるのか分からない。

・まだ詳細が分からないのに、指定を取るのに2・3か月かかるので、スケジュールがタイト。

→どこの事業所も実施できないと、市としても大きな課題。不明点も多いため、県から詳細がでてきたら、部会で情報共有していく。

④ 前回の振り返り

・報告書を用いて振り返りを実施。

⑤ 今年度の後期の取り組みについて

・「にっしん障害者みらいプラン」の抜粋を用いて障害のある方を対象とした、アンケート調査の結果を確認。

→障害のある人の満足度の評価では、「雇用就労・経済的自立支援」「移動・外出支援」がマイナスポイントとなっており、これらの点において不安を抱えている方が多いと読み取れる。また、就労系サービスの項目に関しては、就労移行支援の実績が利用日数、利用者数ともに計画を大きく下回っており、一般就労がなかなか難しいということが読み取れる。一般企業の障害者の雇用実態についての項目では、「雇用・発注したことはない」が多くの割合を占めており、障害者雇用が進んでいない実態がある。障害のある人が就労する上で必要な支援の項目では、「職場の障害者理解」の回答が多くの割合を占めていて、この状況を改善するために就労部会でできることを、後期の活動としていきたい。

<主な意見>

・8月の中日新聞の記事で、草野先生の学芸大と豊田紡織さんと日進ワークキャンパスさんのコラボ企画は、元々豊田市にある事業所と紡織さんに繋がりがあった。紡織さんから事業所に車のシートの廃材を使って何かできないかと話をもらった。草野先生と部会で知り合えたので、草野先生と相談した。障害者も作りやすいよう作業工程も加味して、デザインを学芸の学生さんに考えてもらった。しかしまだ実際、施設に仕事として依頼には繋がっていない。試作ができあがった段階。

・障害者基本計画に「優先調達」というのがある、国や地方公共団体等が率先して障害者就労施設等からの物品等の調達を推進するよう定めたもので、専門学校からチラシの折り込みの仕事をいただいて、毎年している。優先調達という観点で、地域の事業所に仕事を依頼してみないかという案内を一般企業にしてみるのはいかがでしょうか？一度仕事をさせてもらえれば、継続につながる事もある。(事業所に)依頼できる仕事があることを一般企業に周知できれば。小さな仕事でも、積み重なれば事業所の利用者の工賃につながる。障害者でもちゃんとできるんだね、という感想をいただいて、今の仕事に繋がっていることもある。まずは企業に知ってもらうことが一番。企業とのつながりができるような取り組みができればいいなと思う。日進市はあまり大企業がないので、商工会から声かけしていただくとか。例えば、成人式の記念品の袋詰めとかも自分の事業所の利用者さんでもできると思う。そういう仕事を障害者施設に回してもらえればと思う。

・米野木のマックスバリューで店舗が撤退するにあたり、地域の障害者事業所で使えないかという話があり、場所として利用させてもらっている。長久手イオンのわくわく広場のような感じの仕組み。

店舗には職員は常駐せず、納品し、店から発行されるバーコードを商品に貼って、陳列するのみ。食品は食品管理の基準が高く、3日間賞味期限があっても、2日で廃棄ということもある。

- ・チャレンジ雇用で市から色んな仕事をもらっている。企業にもわかってもらえると、業務委託だけでなく、施設外就労とかで、企業さんで働くというのもありえるのでは？

- ・市役所では、業務をうまく切り出して、チャレンジ雇用で依頼している課もあって、通常の業務軽減につながっていると思う。依頼した業務はしっかりこなしてくれている。我々も報告書は見ているが、一つ一つの事例を見ているわけではないので、個々の事例をシェアする機会があってもいいかもしれない。

カタログを一般の方が見た時に、何を頼むのか、どう仕事を切り出すのか、どこに頼むのかなど、どういったところで社会貢献できるか、わかりづらいと思っている。事業所によって、販売や作業など、掲載内容に統一性があまりない。カタログは作り直してはどうか？

- ・今のカタログは内容のバリエーションが薄いかもしれない。これができるとか、金額の目安があれば、企業さんにも伝えやすいかと思う。

- ・チャレンジ雇用の現場や、就労福祉サービス事業所を企業さんに見に来てもらえないか？

- ・カタログの内容をかえるなら、部会で項目自体は議論してほしい。例えば、草野先生つながりで学芸につながれるといいかも。市の予算建てでなんとかなるかもしれないが、ベースとなるカタログの内容のフォーマットをうまく定めてから、企業にアプローチしたほうがいいと思う。カタログの内容に今は不備がある気がするので、改めて部会で検討したほうがいいと思う。

- ・企業側に立つと、仕入れ先としてどうか、作業として業務委託できるか、雇用できるか、わかるようにするといい。ロータリーとかライオンズとかの会合に直接説明に行った方が早い。

- ・10/26 にコープあいちのダイバーシティ推進のための実践交流会（8回目）があり、障害者枠雇用の55名の実際の仕事ぶりを紹介する。今年は、草野先生にも参加いただく予定。宅配、店舗事業でどう働いているか見て、聞いてもらう。毎年記念品を渡している。今年はウェルジョブ名古屋さんの仲介で、ミナトキャンパスの商品を採用して、配布予定。シールを貼ったお菓子の詰め合わせを作ってもらって、丁寧な仕事の提案をいただいた。役員からも好評。仲介がいれば、助かるし、つながりやすいのではと思う。コープでは障害者雇用はセッターや事業所に振られているが、やっている仕事を外に出せない。売りこみや営業をかけていくのは大事なと思う。企業としても受けとめる環境はできつつあると思う。カタログの内容も草野先生の知恵を拝借しながらフォーマットがあるほうがいいと思う。フリーにすると収集つかなくなる。日進市の近隣市町村の企業に配れるカタログができるといい。

- ・商工会の事務局で、市内の企業への周知などの作業はたくさんある。例えば、チラシの配布はシルバー人材センターに依頼している。そういう業務を障害者事業所に委託することも選択肢としてあるのかなと思う。

	・事業所が、農業がメインの作業。農業していると砂や泥が散らばっているの、室内作業が難しい。企業さんから仕事の依頼来て、お断りしたこともある。 ・ネットの力は大きい。カタログも、市のホームページだけでなく、別の角度からネット立ち上げて、いろんな方に見てもらえるようにしたほうがいい。そのためには専門の人の力いるが、興味がある人しか今は見ないけど、そうでない人がたまたま目にしても興味を持ってもらえるようにすると良い。 ・11月20日(火)午前10時～正午、三好特別支援学校が学校見学会を企業向けに行うと話を聞いた。企業に学校に来ていただき、実習などの協力依頼をし、学校での就労準備の指導について説明を実施予定。その最後に、3分～5分ぐらいで日進市の就労部会の説明や、企業とのつながり作りをしていきたいことを説明してはどうか。その場にカタログ持って行くのもよい。 →後期の取り組みとして、「日進市 障害者就労施設 商品・作業カタログ」の修正と、11月20日の三好特別支援学校の学校公開に行くことを決定。 学校公開については、どなたが参加されるか、別途メールで可否をうかがうとともに、調整させていただく。見学会にはカタログと就労部会の説明チラシを持っていくこととなり、チラシの内容について別途共有。
今回確認事項	① 「道の駅 マチテラス日進」事業説明について ② 各部会の報告について ③ 就労選択支援について ④ 前回の振り返り ⑤ 今年度の後期の取り組みについて
次回検討課題	① 三好特別支援学校 学校公開について ② 日進市 障害者就労施設 商品・作業カタログの修正について ③ 令和7年度福祉的就労説明会について
次回開催日時	令和6年12月13日(金)
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 4 回	就労部会
	令和 6 年 10 月 11 日（金） 14 時 30 分 ～16 時 20 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 中屋 優 （欠席）	② 竹内 亜希子 （欠席）
③ 小山 喜久	④ 今仲 良子
⑤ 水谷 公哉	⑥ 加藤 悠也
⑦ 眞田 苑子 （欠席）	⑧ 中山 妙子 （欠席）
⑨ 鈴木 英男	⑩ 岡田 倫和 （欠席）
⑪ 村野 政章	⑫ 菅原 淳
⑬ 草野 圭一 （欠席）	⑭ 竹内 由美子

（市役所）

① 小塚 香苗	
---------	--

（事務局）

① 小倉 懸自	② 渥美 則親
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝
⑤ 宮川 みどり	⑥ 中村 美智子

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	宮川みどり	市確認欄	
専門部会名	第 5 回	就労部会	
日 時	令和 6 年 12 月 13 日（金） 14 時 30 分～16 時 20 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 10 名		事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り・ ☐ なし		
報告・検討 の内容	① 部会員の退会と入会について ② シンポジウムのチラシについて ③ 前回の振り返り ・議事録の確認 ・道の駅での販売について、各事業所の進捗状況 ・各部会の報告 ④ 今年度の後期の取り組みについて ・障害者就労施設商品・作業カタログの修正 ⑤ 令和 7 年度学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会について ⑥ 三好特別支援学校学校公開について（報告）		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 部会員の退会と入会について ・退会は、2 事業所。 1) A 型事業所ネクストステージ赤池の竹内さん 経営困難のため、11 月末で事業所が閉鎖。それに伴い部会から退会。 2) B 型事業所クルーサの加藤さん 加藤さんが 11 月末で退職。部会に派遣できる職員がいないため、部会から退会。 ・新入会は、1 事業所。 就労移行支援事業所パッソ日進校の岩井さん （岩井さん：チラシを元にパッソの概要説明及び、ごあいさつ） ② シンポジウムのチラシについて ・LITALICO ワークス藤が丘：眞田さん 2/26 に「働く何でも相談会」を日進市中央福祉センターにて開催予定。 ・いくるば 1/19 に「子どもたちが笑顔で暮らせるミライとコミュニティづくり」セミナーを実施。 ・名古屋東ハローワーク：中山さん		

1/17に「障害者雇用シンポジウム」を日進市民会館にて開催予定。障害者雇用率は2.3%から2.5%に上がってきており、今まで雇用率の対象でなかった会社も障害者を雇用しないといけなくなってきたことを受けての開催。

③ 前回の振り返り

- ・前回の報告書を用いて振り返りを実施
- ・道の駅での販売について、各事業所の進捗状況

ワークキャンパス：今仲さん

ファーマーズフォレストさんとコンタクトを取り、仕事の切り出し（屋内フードコートの美化業務、野菜の袋詰めなど）をいくつか提案いただいているが、仕事が土日祝日に集中しており、事業所として対応できるか事業所内で検討中。清掃はシルバーさんが入られると聞いている。

ポレポレ：水谷さん

商品を納品するための登録のフォーマットをいただき、何を登録するのか事業所内で検討中。

- ・各部会の報告：直近2カ月の他部会の報告
別紙のとおり

⑤ 令和7年度学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会について

※草野先生がご不在のため、順番を入れ替えて実施。

今年度は6/12に日進市民会館で開催。午前に岡田先生による進路指導と市役所と障害者相談支援センターによる受給者証の発行の流れ等の説明やアセスメント実習の説明を実施。午後は各事業所ブースでの個別相談会を実施。参加事業所数は過去最多。

アンケート結果では、保護者の評価はおおむねよかった。来年度も説明会を実施すべきか検討したい。

＜主な意見＞

- ・年々、周知がよくなり、参加者の期待度もあがってきていると実感しているので、やり方の部分の改善は必要だと思うが、来年も開催すべきだと思う。
- ・事業所の利用者の保護者から「すごくよかった」とご意見をもらったので継続できるという。
- ・アンケート結果を見ると反響が良いと思うので、継続でいいと思う。
- ・日進の保護者には伝えたい事あるので継続してやりたい。
- ・保護者と直接つながっていく場になっているので、継続希望。
- ・初めて説明会に参加した。午前の部では、保護者からの質問も多く、午後の部では保護者が熱心にブースを回られている姿をみると開催して良かったと思うので、継続でいいと思う。内容についてはもんで、更に良いものにしていければいいと思う。
- ・参加者と共有できるようなテーマ設定をしっかりとすべき。ブースを出すにしても、どういう目的で出すのか、誰に来てもらって説明するかなど、目的やニーズの整理が必要。
- ・日進の地域の小中学校に通っている保護者にとっては、就労について聞く機会は少なく、「こういう機会があるのはよかった」と保護者からも好感触だったので、継続できるという。
- ・説明会自体は継続できるというが、年度の後半で実施している一般就労への取り組みがなかなか進まないの、もう少し一般就労に向

けての取組みができるようにシフトしていきたい。

- ・お母さんたちの役割（就労するのに必要な準備）を伝えるのに良い機会。開催するなら部会として必要と思っていることを伝える場になるといい。伝えたい内容やテーマを絞って伝えていく方が価値のある説明会になると思う
- ・やり方は午前午後に分けてすることでいいと思うが、いろんな人が集まってきているので、どこまで対象を広げるか、低学年と高学年の保護者には説明の仕方が違ってくと思う。
- ・自立支援協議会で、昼休憩があることに批判的な意見があがっていたので、昼休憩を設けるかどうか、検討が必要。
- ・説明会におけるニーズを絞ったほうがいいと感じている。
- ・子どもの進路に関して、親がする選択の幅が広がっている。一般就労を目指す親が増えていると思う。毎年、説明会では同じことを繰り返していたら、毎年来ている熱心な保護者からの説明会に対する評価は下がると思う。

→来年度も説明会は開催することに決定。6/3の午後（事前準備）と6/4（開催日）に日進市民会館小ホール&展示ホールが利用可能となっている。内容については2月の部会で議論する

④ 今年度の後期の取組みについて

障害者就労施設商品・作業カタログは、毎年内容は更新しているので、内容はアップデートされているはずだが、企業の方がこのカタログをみて商品を発注できたり、どんな仕事を依頼できるかがわかりやすいかは疑問。今のカタログは手作り感が否めないのも、草野先生と学生さんのお力を借りて、改善していきたい。

＜草野先生より＞

年明けから2名の学生に参加してもらえそう。イラストを書いたり、紙面の編集もできる。事業所さんからある程度の情報をいただいて、それをベースに作成し、より情報を引き出すために学生が直接、事業所を取材するという形も可能かと思う（全部の事業所には無理だと思うが）。冊子として印刷まで対応することはできる。

＜主な意見＞

- ・神戸市のカタログですごく見やすいものがあった。→回覧する。
- ・市として守らないといけないものがある？ここだけはキープしたいところとか？→特になし。
- ・メンテナンスも草野先生にお願いできるのか？
→草野先生が大学に在籍する限りは毎年更新をお願いできる
- ・今あるカタログは学校にあると保護者が事業所を知るという意味でいい。ただ、どこに出すものか疑問。どこをターゲットにしているか？それによってはいらぬ情報も入っているのでは？
- ・今後の更新のしやすさを考えるとフォーマットや枠のデザインを草野先生にいただいて、それを素材として各事業所に提供していただくのはどうか？
→そのやり方も可能だが、それだと今のカタログに色がついた程度になる。
- ・神戸の冊子は、作業状況もわかりやすく、注文書もついていて良い。
例えば、子供会で大量に景品等を配るときに注文書がついているカタログだと実際の注文に繋がりやすい。ワードだと更新はしやすいが、多

くの方に手にとっていただけるものを作るという意味では、編集ソフトで先生に作っていただくのがいいのでは。

- ・販売と請負のカテゴリーを分けるべき。お母さんたち（子供会の役員等）に見てもらうのも大事だが、B型の工賃向上という観点でも企業に見てもらおうというところを意識しないとお金につながらない。
- ・社協や市役所などの仕事が、障害者事業所に切り出せて、障害者事業所の仕事になるのも良いと思う。例えば、社協で物品を配る時の品物を障害者事業所から調達するとか、子供会のクリスマス会のプレゼントの中に事業所の商品を入れてもらうとか、日進市の中でお金が動く仕組みがあってもいいと思う。
- ・カタログという方向性かと思っていたので、それでいいと思うが、どこか情報を集約できる中核機関のような所はない？（カタログを見た人は）各事業所に問い合わせするしかないのか？中核機関があれば、問い合わせしやすい。
→現時点では日進市にはない。
- ・来年度の道の駅開業に間に合わせられないか？今年度でカタログを完成させて、実現できると良い。
- ・今のカタログは自費印刷しているのでお金がかかっていないが、印刷会社に頼むならどこからお金出すことになるのか？
- ・Instagramを作って、そこからつながるような仕組みできないか？会計上の問題は何かあるかもしれないが、カタログに記事を載せる事業所から協賛金（3000～5000円位）をもらうのはどうか？→現金の取りまとめをする機関がない。

＜草野先生より＞

カタログを作って終わりではなく、発信までできるといい。作った冊子をダウンロードしてもらえようにすることは可能。カタログの作成には印刷代、交通費などいろいろな費用はかかるので、そのあたりも含めて検討しないといけないが、カタログの作成自体は学生も前向き。ボランティアでもいいと言っている。

→時間がそんなにあるわけではないので、草野先生と学生さんが動きやすいようにしていくことを、一番の優先としたい。草野先生と学生さんと相談いただいて、今あるカタログをたたき台にして試作を作っていただき、2月の部会でご報告いただく。

⑥ 三好特別支援学校学校公開について（報告）

- ・日進ワークキャンパスの今仲さんと事務局の宮川が参加。企業12社、18人ほど企業の方が参加されていた。
今年卒業して、就職する学生の就職先の会社が、学校生活の参観に来られていた。3年生の学生と会社さんがにこやかに話をされ、「4月に来るのを待っているよ。」等、会社さんから声をかけてもらっていた。部会の説明をする時間はなかったので、交流を見学させていただいた。

今回確認事項	① 部会員の退会と入会について ② シンポジウムのチラシについて ③ 前回の振り返り ・議事録の確認 ・道の駅での販売について、各事業所の進捗状況 ・各部会の報告 ④ 今年度の後期の取り組みについて ・障害者就労施設商品・作業カタログの修正 ⑤ 令和7年度学校卒業後の進路を考えるために障害福祉サービス説明会について ⑥ 三好特別支援学校学校公開(報告)
次回検討課題	① 今年度の後期の取り組みについて ・障害者就労施設商品・作業カタログの修正 ② 令和7年度学校卒業後の進路を考えるために障害福祉サービス説明会について
次回開催日時	令和6年2月14日(金)
次回会場	日進市障害者福祉会館 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 5 回	就労部会
	令和 6 年 12 月 13 日（金） 14 時 30 分 ～16 時 20 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 中屋 優（欠席）	② 岩井 朋子
③ 小山 喜久（欠席）	④ 今仲 良子
⑤ 水谷 公哉	⑥ 眞田 苑子
⑦ 中山 妙子	⑧ 鈴木 英男
⑨ 岡田 倫和	⑩ 村野 政章（欠席）
⑪ 菅原 淳	⑫ 草野 圭一
⑬ 竹内 由美子	

（市職員）

① 吉ノ元 菜乃（欠席）	
--------------	--

（事務局）

① 小倉 懸自	② 渥美 則親
③ 宇佐美 香津美（欠席）	④ 日岡 由季枝
⑤ 宮川 みどり	⑥ 中村 美智子

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	宮川みどり	市確認欄	
専門部会名	第 6 回	就労部会	
日 時	令和 7 年 2 月 14 日（金） 14 時 30 分～16 時 20 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 10 名	市職員 1 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り・ ☐ なし		
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り ・議事録の確認 ・各部会の報告 ② 来年度の事業計画について ③ 今年度の後期の取り組みについて ・障害者就労施設商品・作業カタログの修正 ④ 令和 7 年度学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会 について ⑤ その他 ・就労選択支援について		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 前回の振り返り ・前回の実施報告書を用いて振り返りを実施 ・各部会の報告：直近 2 カ月の他部会の報告 別紙のとおり ② 来年度の事業計画について 社会福祉協議会の事業の整理を実施予定。整理の結果、部会の縮小や回数 の減少が予想される。ただし就労説明会とカタログ作成は保護者のニ ーズに応じて継続する方向で協議していく。 ③ 今年度の後期の取り組みについて ・障害者就労施設商品・作業カタログの修正について ・カタログの見やすさと実用性を改善するため、特にターゲット層に向 けた内容や情報整理を実施。草野先生の資料を基に、部会員各自が考 える効果的なデザインについて、意見出しを行い、デザインを「情報 誌」の様式で依頼をすることを選択。 →名古屋学芸大学の草野先生と学生の協力を得て障害者就労施設カタ ログのデザインと内容を改善。3 月中に今ある情報で、カタログ案を 作成いただき、部会で共有していく。 ④ 令和 7 年度学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス		

説明会について

- ・参加者のニーズに適した目的設定と、説明会の開催方法の見直しを実施。
 - 今回の開催目的は、小中学生の障害がある(と思われる)児童・生徒の保護者向けに将来の進路を考える機会の提供とする。
 - 午前中(10:00~12:00)の開催とし、開催内容の精査を実施。
 - ① 介護福祉課による障害福祉サービスの説明とアセスメント実習(就労選択支援)の説明
 - ② 三好支特別支援学校高等部の進路指導の講演
 - ③ 日進市内の就労系事業所と部会員の事業所でブースを作り、個別相談会

<主な意見>

- ・今年は2時間あった個別相談会が1時間になってしまっているが時間が足りないのではないか。
- ・目的を考えると、講演会部分がメインで、相談ブースは附属的な位置づけなのではないか。
- ・個別相談会から事業所見学につながるケースが多かった。日進市として必要なことは何かを考えると、事業所ブースでの個別相談会は重要なのではないか。
- ・特別支援学校高等部の進路説明会は学校でも実施されているので、一般向けに事例を減らして時間を半分ぐらいにさせていただくのはどうか？
- ・講演部分を動画配信し、参加者の方に事前に情報を知っていただいてから来ていただくことはできないか？
- ・昼休憩や事業所紹介の紙があったことで、保護者がどこに相談にいかうか等、考える時間ができていたのではないか。
- ・特別支援学校の時間を去年より短くしていただき、個別相談会の時間を1時間20分とれないか？
- ・大学生の就職相談会では、エントリーシートを記入いただき、そこからも繋がれるようにしている。そういった様式を作ると良いのではないか。
- ・事業所相談ブースを小ホールにも作ることで、ゆとりを持たせた設営ができるのではないか？
- ・市役所、特別支援学校、相談支援事業所のブースは必要。
 - 各項目の開催時間の調整。下記の通りで実施していく。
 - ① 介護福祉課による障害福祉サービスの説明とアセスメント実習(就労選択支援)の説明(20分)
 - ② 三好支特別支援学校高等部の進路指導の講演(20分)
 - ③ 日進市内の就労系事業所と部会員の事業所でブースを作り、個別相談会(80分)
 - 令和7年度の説明会のチラシについて、ご意見やアイデアをメールで事務局に送っていただく。

⑤ 就労選択支援について

- ・現時点で、部会員が所属する就労選択支援の実施を考えているかの確認を実施。
 - ポレポレハウスでは、他の事業所での実施が難しい場合、実施を検討する話は上がっている。日進市内の移行事業所では、国の要件を満たしていないという状況だが、系列の事業所の紹介は可能とのこと。A型事業所では、事業内容が分からないと実施できるか検討できないと意見がでる。

	→国から就労選択支援の具体的な事業内容が示されていないので、要綱が確定しだい部会で共有していく。
今回確認事項	① 前回の振り返り ・議事録の確認 ・各部会の報告 ② 来年度の事業計画について ③ 今年度の後期の取り組みについて ・障害者就労施設商品・作業カタログの修正 ④ 令和 7 年度学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会について ⑤ その他 ・就労選択支援について
次回検討課題	① 令和 7 年度学校卒業後の進路を考えるために障害福祉サービス説明会について ② 令和 7 年度の取り組みについて ・障害者就労施設商品・作業カタログの修正
次回開催日時	令和 7 年 4 月 11 日（金）
次回会場	日進市障害者福祉会館 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 6 回	就労部会
	令和 7 年 2 月 13 日（金） 14 時 30 分 ～16 時 20 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 中屋 優（欠席）	② 岩井 朋子
③ 小山 喜久	④ 今仲 良子
⑤ 水谷 公哉	⑥ 眞田 苑子
⑦ 中山 妙子	⑧ 鈴木 英男（欠席）
⑨ 岡田 倫和（欠席）	⑩ 村野 政章
⑪ 菅原 淳	⑫ 草野 圭一
⑬ 竹内 由美子	

（市職員）

① 吉ノ元 菜乃	
----------	--

（事務局）

① 渥美 則親	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝	④ 宮川 みどり
⑤ 中村 美智子	